



## 世に問うべし

関西大学学長

大西昭男

ご卒業おめでとう。めでたく卒業証書を手にされた諸君、どうか胸を張つて校門を出て行つていただきたい。二十万校友が切り開き、踏みならした道は、天下に四通八達している。関西大学の卒業生と名乗るだけで、君は天下の大道を闊歩して行くことができる。その上に、君は関西大学の卒業生という以上の何ものかなのだ。君は何よりも、君自身なのだ。君がまだ無名だということは、いうことだ。君の真価を君自身さへも未だ知つてはいないはずだ。今まで諸君に残されている青春といふことも、遊び足りなかつた悔いも、能性をひめていると信じているかの知られざる自己の真価を世に問うべき時が来たのだ。今は先ず、あるがままの自己を世に問うべし。

その奇蹟の功力(くりき)によつて、明日からの君の生涯を照らす

曙光ともなり、君を動かしていく熱いことばがある——「日本と日本人ともなつてくれことだらう。」

あるがままの自己を直ちに世に

問うこと内心のひるみを覚える人がいるかも知れない。それもまたよし。青春悔いあり。その悔いもまたよし。学び足りなかつたひるよりよい自己という限りなき可

能性をひめていると信じているか

の世相を反映して、ハワイのカビ

オラニ・コミニティカレッジで英語の夏期セミナーが開始され、

ホーリーで盛大に行われた。出席者

は約二万三千名で広い式場も立派

にそり立つ、この素

晴らしい真理の殿堂に新入生諸君

は大いに心おどらせたであろう。

昭和六十二年四月六日には飛鳥文化

バスクの真中にそり立つ、この素

晴らしい真理の殿堂に新入生諸君

は大いに心おどらせたであろう。

昭和六十二年四月六日には飛鳥文化

&lt;p







